

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」目標等の設定様式

市町名

山陽小野田市

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
山陽小野田市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	地域協育ネット(地域教育協議会)の事務局を学校が担っている。学校運営協議会と地域協育ネット協議会(地域教育協議会)の両会議を学校が開催しており、他市町に比べ教職員の負担増となっている。	地域協育ネットについては、学校ではなく地域の活動拠点である「地域交流センター」へ事務局の移管を目指す。	教育ネット協議会(地域教育協議会)は、従来から実際の活動について協議する場であり、地域において運営するべきものである。地域交流センターの協働活動に対する意識改革につながるとともに、学校の負担軽減を目指す。	地域協育ネットの事務局が「地域交流センター」にある割合	12	%	19		
山陽小野田市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	学校支援・地域貢献における子どもたちの参画については、大人が活動機会を用意する取組が多い。子どもたちの意見を取り入れた活動を行うことで、子どもたちの主体性、自主性を育み、地域の活性化につなげる必要がある。	学校運営協議会及び地域教育協議会等の協議の場において、子ども達を参画させる。	子ども達の意見を取り入れることで、子どもたちの主体性・自主性が育まれるとともに、子どもたちの発案による取組は、地域の大人たちにとってもやりがいになり地域の活性化にもつながる。	学校運営協議会及び地域教育協議会の協議の場に子どもが参加した割合	81	%	94		